

感想文集

ひめゆり



第7号

ひめゆり平和祈念資料館

感想文集

ひめゆり

第7号

ひめゆり平和祈念資料館

本书收录了大量的随笔、感想，这些感想文
都是各位参观者在参观了姬百合和平纪念馆资料馆
之后由感而发的，都共同表现了人们对和平的热爱
感想文集編集員

宮 良 ル リ

津波古 ヒ サ

島 袋 淑 子

宮 城 喜久子

普天間 朝 佳

(資料館担当職員)

感想文集

ひめゆり 第七号

一九九六年六月二十三日

発行 ひめゆり平和祈念資料館

糸満市字伊原六七一一

電話 ○九八一九九七一二一〇〇

FAX ○九八一九九七一二一〇二

印刷 文進印刷株式会社

糸満市西崎町五丁目十一四

電話 ○九八一九九四一五七七七

(非売品)

はじめに

戦後五十年にあたる昨年は、全国各地で「戦後五十年」と銘打った催しやイベントが数多く行われました。

戦争の悲惨さと平和の尊さを再確認するはずの節目の年に、不幸にも冷戦後の平和の芽を摘み取るような出来事が続発しました。昨年の五月フランスは自国から遠く離れた南太平洋のムルロア環礁で核実験を再開しました。中国も自国での核実験を繰り返しています。九月には、沖縄で米兵による少女暴行事件が発生し、沖縄をはじめ全国で怒りと抗議の渦がまきおこりました。沖縄の「戦後五十年の怒り」が炎のように燃え上がるなかで、「沖縄の米軍基地の一部撤去、整理縮小」が発表されましたが、移転先の自治体に反発されるなど、まだまだ根本的な解決には至っておりません。

昨年は、まさに今後の日本の行く末が問われる年になりました。感想文の中にも、これまでの「戦争の恐ろしさ」「教育の大切さ」について書かれたものに加え、「米軍基地問題」「核実験問題」等に見及したものがあり、本号の特集といたしました。

沖縄戦から半世紀・・・私たちはいかなる戦争も許さないとするひめゆりのところを大切にし、これからも戦争体験を語り継ぎ、戦争の実相を訴えることで再び戦争をあらしめないために力を尽くしていくつもりです。

これからの世紀が平和な世紀であるためにはどうすればよいのか、ひめゆり平和祈念資料館も皆様とともに考えていきたいと思っています。

どうぞ、今後とも皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

一九九六年六月二十三日

【編集に際して】

- この文集に掲載された感想文は、一九九五年四月一日から一九九六年三月三十一日までのものです。
- 二万三千七百四十八点の中から紙面の都合で四千二十九点にしばらく、年代別に編集いたしました。
- 当館の理念に共感するもの、異なった視点から述べられたものなど、できるだけ幅広く取り上げました。
(掲載できなかった感想文は資料として五年間保存致します)
- 感想文を提供して下さった方々のお名前、職業または学校名はご本人の許可を頂いて掲載いたしました。
- イニシャルまたは匿名を希望された方の場合にはご希望通りにいたしました。
- 県名・年齢は全員掲載いたしました。
- お名前、ご住所等が記載されていなかった感想文は、掲載の許諾を問い合わせることができず、そのまま無記名で掲載させて頂きました。
- ひめゆり部隊と書かれたものは、ひめゆり学徒隊と訂正いたしました。
- 見出しは、編集部員でつけさせて頂きました。

目次

はじめに	
幼稚園・小学生	6
中学生	36
高校生	56
大学生	98
二十五歳未満	132
二十五歳以上	157
三十五歳以上	190
四十五歳以上	206
五十五歳以上	220
六十五歳以上	232
年齢なし	244
外国人	246
特集	267
寄せ書き	308

死体からの油で黒くなった土

骨の埋もれている土の上に立った

靴底から恐怖がひしひしと伝わる

戦争を知らない私たちは

ぬくぬくとこの現世を生きている

戦争を忘れて生きている

今日、本当の戦争を感じた

人が生きていく所ではない状況の中で

ひめゆりたちは、必死に生きていた

その証を、私たちは感じとっている

人間が殺し合い、人間がうらぎり



人間としての最低の部分が見え隠れするその場所で、

私はようやく本当の戦争を知った

そこに残されたものは、全て真実を物語る

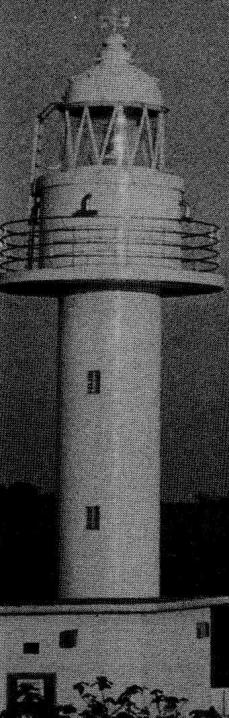
全てのものは、平和を求めている

私はその中で、再び平和と人間の命の尊さを知った

自分たちに使命があることを知る

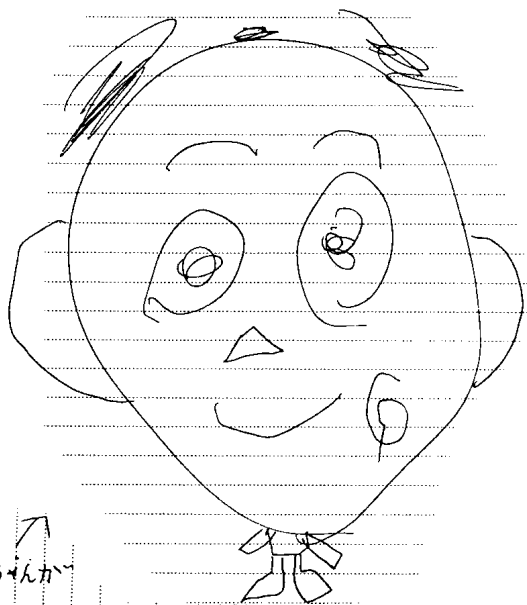
「平和を守る」ということを……

京都府 京都女子高校 17歳 西澤亜希子



幼稚園生・小学生

しろやまだい幼稚園 まえだいよ



いいちゃんか
かん

どうしてた。ほくも...

東京都 幼稚園 前泊美希

すごくかわいそうでした。
はくだんなんかせかにいはいはい
のにそうしたらみんなでいはいくらしか
できたのにほんとうにかわいそうでした。
うかいねむいについてきくとさみしい
だろうなともいいました。

つたしは、石がきの人のお山とみよと
 いう人もせんそうへって、水をくもつて
 して、アメリカのへいたいにつかてて
 ば、うで足をうたれてみんなもの
 むらにかえろうというのにひういんでのこ
 てじぶんてにげかえてきれいなひういん
 でした。でも、いきました。
 ほかの人たちも大きなおくだんにま
 きこまれてしんだのかもしれない。
 せんそうはもうやらないでください。



石垣市 小学校 たいらあきの



日本軍はじぶんのことばかり考えて：

沖縄県 上田小学校 8歳 大田 恵

せんそうでなくなった人のかおを見ながらとても心ばそくなつてきました。日本軍は、じぶんのことばかり考えているのかと思いました。

せんそうでつかつたどうぐも見ました。ひめゆりのとうのしたは、何人ものぎせいしゃを出したあながあります。私は、せんそうは、とてもおそろしいことだと思いました。

せんそうでなくなった人はとてもかわいそうです。せんそうは、おそろしいです。おばあちゃんとおじいちゃんたちは、おさないころにこんなおそろしいたいけんをしてとてもかわいそうです。

はえばるりくぐん病院ごうを見るときに一人のおばあさんがはえばるりくぐん病院ごうのことを話してくださいました。私は、せんそうでどんな思いをしたのかわかりました。

せんそうでかんごふのお手つだいをしていた学生さんたちが一番かわいそうです。学生さんたちは、おうちに帰りたくてもかえれなくてとてもかわいそうでした。

学生さんたちは、かぞくともわかれてへいたいさんたちのてあてをして、どんななくなっていくえいが見てないてしまいました。とてもかわいそうでした。

もうせんそうをおこさないでください。

もつともつといきたかつただろうね

沖縄県 安慶田小学校 8歳 高江洲 滝子

せんそうでなくなったひとたちはかわいそうだね。

わたしは、いきいてよかつたと思いました。

そして、もつともつといきたかつただろうね。

もつともつといきればよかつたのに、なくなつてかわいそうだね。

てんごくでもがんばつてくらしていますか。

わたしは、もつともつといきます。

あなたたちのためにももつともつとがんばつていきます。

○〇ちゃんのようにかわいそうでたまらなかつた。てんごくでがんばつてくらしてください。

じぶんでしにたくないなーと思つた

埼玉県 戸塚北小学校 8歳 浜野彩佳

さいしよはしゃしんを見て「そんなにしんだんだー。」とおもつた。

おんがくがなつてきいていたらなんかさみしくなつてきて、おばあちゃんに「このうたなんのうた」ときいたら「ひめゆりのうたじゃないの」といった。

それでこんどはいっぱいしゃしんがあるところで、え、こんなにしんだのいやだなーっておもつた。

それでわたしはじぶんでしにたくないなーとおもつた。しんだ人はうたれるとき、いたかつたんだよなーっておもつた。

かぶとのところにあながボツボツあいてたからあたまにあたつたんだよなっておもつた。ちゆうしゃきが二つにおれていたから、なんでおれたんだろうとおもつた。



「平和」のじだいに生まれてよかった

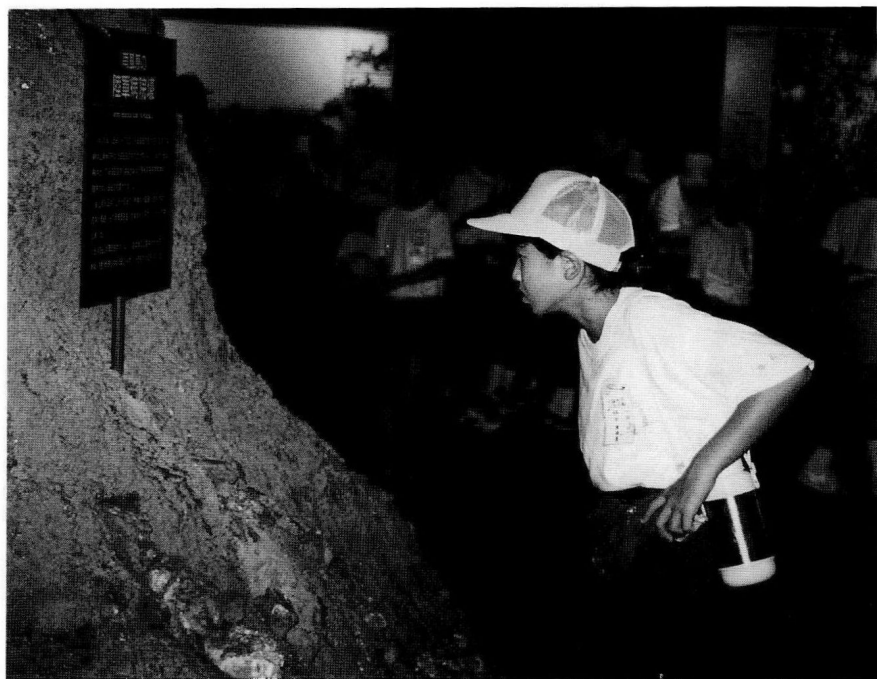
大阪府 真上小学校 9歳 津田有美

すごくなしなかった。一回えいがをみたことがあってすこし、しつてたけど、ここにきて、本もよんだからすごくなしなかった。わたしが、このじだいのひとで、こんなことがあったらやだなーと、おもった。

ぼうくうごうとか本をみて、すごくなしくなった。この人たちがまいにちまいにちおなじせいかつをして、ばくだんのはへんにあたったり、がすばくだんで、くるしんで、さげびながらしんでいく、そういうまいにちをおくるなんて……。

でもわたしは「平和」のじだいに生まれて、よかったとおもう。たいせつなお友だち、たいせつな人、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、しんだらこまるもん。大切な人が、しんだら、さびしいし、こまるもの。

わたしは、これからせんそうが、おこらないようにできるだけ、がんばります。



てんのうへいかもおなじ人間

福岡県 荒木小学校 10歳 檜原知里

はじめて、せんそうのこわさをしりました。

たくさんの人が死に、ころされていった。

おばあちゃんが、いきていたとき、少しあつたぐらいだから、長いきしている人は、せんそうにあい、友だち、親、おじいちゃん、おばあちゃんをなくしてしまつてとてもかわいそうだと思います。

たった一ぱつのげんしばくだんで何十万人という人がなくなつてしまいました。かぞえきれない人がしに、ころされてしまったかぞえきれない人たち。みずからいのちをすててしまった人たちは、わずかな命をすててしまつた。

てんのうへいかのためつて、人げんどうしたたかうな
んておかしいと思いました。てんのうへいかもふつうの
人もおなじ人げんだと思います。

とてもべんきょうになりました。ありがとう。

同じ日本人が日本人をころしたのは：

東京都 千寿本町小学校 10歳 林 揚

私が思つた事は、今は、平和な世界になつていているけど、
平和になるためには、多くの人がなくなつていった。日
本軍は、沖繩の人達に、「もし米軍が来てもけつして出て
は、いけない。」そう言いかせました。

しかし米軍は、「出て来なさい。なにもしないから。」
そういうふうと言っている。でもみんなは、でない。米
軍もこまつている。最後には、ばくだんでころされてし
まう。

沖繩の人は、日本軍に助けられたのではなく反対にこ
ろされたのだ。うらぎられて。日本軍は、ざんこくだと
思いました。米軍が助けるのに、なぜ日本軍はころして
しまふのだらう。あまりにもひどすぎると思つた。

米軍が来て、すなおに出て行けば助けてもらえるのだ
が、沖繩の人は、日本軍にだまされているから出ない。
同じ日本人が日本人をころしたのは、同じ日本人ではな
く、悪まみたいな人達だと私は思つた。

戦争のおそろしさをいちだんと感じ：

福岡県 四箇田小学校 10歳 日高真由子

ひめゆりの人たちをみてとってもかわいそうでした。アメリカ軍にガスでやられるところはなみだがでるほどでした。死んだ人にはウジがわいていたり、かおがふつとんだりするところは、とてもごくでした。

私は戦争にあったことがないからこの苦しみはわからないけど、何か心にジーンとくるものがありました。私の顔がふつとんだり、内ぞうがとびでたらどうしようと思うと、とてもおそろしいです。きつと、ひめゆりの人たちは私より、もつと、もつと、もつとおそろしかったと思います。

あんな時、私だったらどうするかな。私だったらやっぱり（だれか言ってる人がいたけど）青空の下で水もたくさんのんで、死にたいです。それができないなら家族のみんなと死にたいです。ひめゆり平和祈念資料館に来る前は、これほど心にこなかったけど、今、書いていると、とても心にきます。

ひめゆりで死んでいった人や、戦争で死んでいった人に私の好きなブーゲンビリアのかおりを死ぬ前にかがせ

てあげたかったです。それに、ウインナーやソーキそばや、コーンスープも死ぬ前に食べさせてあげたかったです。

ここにきて、戦争のおそろしさをまたいちだんと感じました。二度と戦争などおこしてはいけないと思いました。

がんばったのにかいさんめいれいを出して：

奈良県 あやめ池小学校 10歳 松下里菜

このしりょうかんを見て、おきなわせんのことを、よく知りました。今から何十年まえ、こんなかわいそうなせんそうが、あったのが、しんじられませんか。

でも、高校生の人たちが、国にめいれいされて、さんざんくるしい思いをしたのに、国はかいさんのめいれいを出して、人々がこまったのを、すぐくかわいそうに思いました。

でも、生きのこった人たちは、すごいと思いました。

私は、生きのこった人たちのことを、うれしく思います。これからのじだいの人にも、このことをしてもらいたいと思います。これからがんばって下さい。おうえ



んしています。

もうせんそうなんて、おこってほしくないです。このこと（おきなわせん）をして、せんそうはこわい、しものぐるいだったことをしりました。ありがとうございます。

戦争はぜったいいやです

沖縄県 坂田小学校 11歳 屋宜麻衣子

こんなにたくさんの人達がなくなつて、いやでした。私は、戦争がいやです。なぜ戦争をやるのだろう。こんな風に苦しんでいる人もいたのに。私が、もうちょっと大きくなったら「戦争反対」の運動をしたいと思います。なみだがでるほど、悲しかったです。

戦争は、ぜったいぜったいいやです。一人ひとりちゃんと命があるのに、こういう風に殺されるなんて、とても心がいたいです。人を殺すというのは自分の心がまっくろです。これから戦争をやらないでみんな平和にして、どの国でも仲良くしていきたいです。

戦争でなくなつたかた、やすらかにねむり下さい。戦争をしないように、私たち、みんなで守ります。

何もしてない人までぎせいになって…

埼玉県 里小学校 10歳 伊藤和佳奈

私はまだ小学5年生です。私ぐらいの子、いやもつともつと小さい子がたくさんなくなっていると思うと、考えたくても考えられません。私にも兄（十五歳）がいますが、兄と同じぐらいの人が二百何人もなくなっていました。

何にもしてない人までぎせいになってしまつて、とてもかわいそうに思います。家族をなくし自分たちだけで生きるといふことはとてもできませんが、そういう人たちは空しゅうにおわれ、ずつとおい所から引けて来た人もいるという話をききます。

どうかつので、おばさんがなみだをながしながらいつしうけんめい話をして下さいました。それをきくと私もせんそうをあじわつたように思えました。

「ひめゆりのとう」のえいがと「きけわだつみの声」というえいがあります。ずつと前からみたいみたいと思つておりました。本やえいがでこんなにきずつくなら、せんそうをあじわつた人がどれほど大切かがわかります。こんなことがもうぜったいおこらないように、みんなで

